

## 第 87 回 保守管理検討会 議事録（案）

1. 開催日時： 2025 年 1 月 28 日（火）13 時 30 分～17 時 00 分
2. 開催場所： 一般社団法人 日本電気協会 A 会議室（Web 併用会議）
3. 出席者： （順不同，敬称略）  
出席委員： 牧原主査(東京電力 HD)， 平原副主査(九州電力)， 明石副主査(四国電力)，  
花木(日立 GE ニュークリア・エナジー)， 片桐(電源開発)， 細川(日本原燃)， 鈴木(中部電力)，  
仲井(元日本原子力研究開発機構)， 志和屋(関西電力)， 大塚(北陸電力)，  
堀水(原子力安全推進協会)， 西(東芝エネルギーシステムズ)， 宮道(中国電力)，  
米澤(日本原子力発電)， 佐々木(日本原子力研究開発機構)， 近藤(北海道電力)  
(計 16 名)  
代理出席： なし (計 0 名)  
欠席委員： 伊藤(東北電力)， 黒岩(三菱重工業) (計 2 名)  
常時参加： 渡辺(電力中央研究所)， 森田(電力中央研究所) (計 2 名)  
説明者： なし (計 0 名)  
オブザーバ： 柳原(関西電力) (計 1 名)  
事務局： 梅津(日本電気協会) (計 1 名)

### 4. 配布資料

資料 No.87(1)-1 保守管理検討会名簿

資料 No.87(1)-2 保守管理検討会名簿（日程調整）

資料 No.87(2) 第 86 回保守管理検討会議事録（案）

資料 No.87(3)-1 保守管理規程/指針の次回改定について（案）

資料 No.87(3)-2 JEAC4209-202X 新旧比較表（案）

資料 No.87(3)-3 JEAG4210-202X 新旧比較表（案）

資料 No.87(3)-4 JEAC4209/JEAG4210 改定案（中間報告）に関する運転・保守分科会から頂いた意見

資料 No.87(3)-5 JEAC4209/JEAG4210 改定案（中間報告）に関する原子力規格委員会から頂いた意見

資料 No.87(3)-6 JEAC4209/JEAG4210 改定に向けた国内外の知見リスト

資料 No.87(3)-7-1 通常点検，劣化点検等の定義に対する考え方

資料 No.87(3)-7-2 リスク情報の定義について

資料 No.87(3)-7-3 JEAC4209/JEAG4210-2021 改定時の対応

資料 No.87(3)-参考【No1 関連】 JEAC4209-2003

資料 No.87(3)-参考【No9 関連その 1】 80(3)-3-4\_JEAC4209JEAG4210 改定に向けた検討  
（日本機械学会の報告書及び刊行物の確認状況）（原電，北陸，九州）

資料 No.87(3)-参考【No9 関連その 2】多様な設備による安全性向上のための保安規定改訂  
ガイドライン(抜粋)

資料 No.87(3)-参考【No9 関連その 3】20241223(NRA-CNO 意見交換) 運転中保全 (OLM) の  
取組みについて(抜粋)

資料 No.87(3)-参考【No13 関連】86(3)-5-2\_実用炉規則 特別点検

資料 No.87(4)-1 2025 年度 各分野の規格策定活動 (運転・保守分科会分) (案)

資料 No.87(4)-2 原子力規格委員会 運転・保守分科会 2025 年度活動計画 (案)

## 5. 議 事

事務局より、本検討会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことの周知徹底が行われた後、牧原主査による開催挨拶があり、その後議事が進められた。

### (1) 代理出席者、委員定足数、常時参加者、説明者、オブザーバ、配付資料の確認

事務局より、出席委員数は現時点で16名であり、分科会規約第13条(検討会)第15項の決議に必要な委員総数の3分の2以上の出席を満たしていることが確認された。また常時参加者2名及びオブザーバ1名の紹介があり、分科会規約第13条(検討会)第11項に基づき主査の承認を得た。その後配付資料の確認があった。

### (2) 前回議事録の確認

事務局より、資料87(2)に基づき、前回議事録案の紹介があり、正式議事録とすることについて、分科会規約第13条(検討会)第15項に基づき決議の結果、特にコメントはなく、出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

### (3) JEAC4209/JEAG4210の改定案の中間報告について

牧原主査より、資料 87(3)シリーズに基づき、JEAC4209/JEAG4210 の改定案の中間報告について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 原子力規格委員会から頂いた意見への対応案について、改定趣旨に影響するものは 2/5 の分科会中間報告その 2 までに作成する必要がある。
- 記載の適正化等については、具体的な文案は不要と考える。また、JEAC4111 との整合は上程までにすり合わせを実施していく。それ以外については、少なくとも対応の方向性は 2/5 の分科会に報告する必要がある。
- 現行の JEAC4209/JEAG4210-2021 作成の際、JEAC4111 とのすり合わせを実施しているので、実質的に影響を及ぼすような不整合はないと考える。
- 品質保証分科会との打ち合わせを設定する。

- ・ 原子力規格委員会コメント No.5 について、資料 No.87(3)-7-1 に PWR で認可された実績を示している。BWR 側の申請実績も確認したうえで、定義を変更するのではなく、JEAG4210 に具体例を例示することも検討する。
  - ・ 資料 No.87(3)-7-1 の通常点検についての記載を見ると、「技術基準適合確認を目的に」とあるが、限定していいのか。
- 事実関係について、継続して確認する。
- ・ 前回改定時も、当時電事連の関連する委員会に改定内容について説明等を実施している。今後、ATENA ガイドの記載について ATENA と認識合わせを実施していく。
  - ・ NMAC は古い組織であり、JEAC4209 制定当時の扱いが確認できないため対応案からは削除する。
  - ・ 原子力規格委員会コメント No.1 の最後の回答は、制定当初の概念が変わっていないことと関連するため記載場所を移動する。
  - ・ 原子力規格委員会コメント No.4 の対応案で、ATENA ガイド制定に係るプロセスはステアリング会議での決議も含めて公開されているため明示する。また、長期施設管理計画では製造中止品管理について ATENA ガイドを引用する旨記載し認可されていることも記載したほうが良い。
  - ・ JEAC/JEAG としても、今回改定で製造中止品管理について追記する旨を明示する。
  - ・ 原子力規格委員会コメント No. 8 については、実施項目を詳細に分解して記載するのではなく、おおまかな範囲を示すにとどめるべき。
  - ・ 原子力規格委員会コメント No.9 については、参考文献や状況の詳細ではなく、OLM 実施については議論中である旨を前提として記載すべき。
  - ・ 原子力規格委員会コメント No.12 等の図の記載に関するご意見については、ご意見の趣旨を確認しつつ今後見直しを検討していく。
  - ・ 今回の検討会での意見を反映した資料 87(3)-1～5 を、2 月 5 日(水)の運転・保守分科会で中間報告を実施する資料とする。

#### (4) 2025年度活動計画について(審議)

牧原主査より、資料 No.87(4)-1 及び資料 No.87(4)-2 に基づき、2025 年度活動計画について説明があった。

2025 年度活動計画を資料 No.87(4)-1 及び資料 No.87(4)-2 により運転・保守分科会に上程することについて、決議の結果承認された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 資料 No.87(4)-2 の 2024 年度活動実績について、原子力規格委員会への中間報告日程は誤記のため、2024.10→2025.3 へ修正する。
- ・ 2025 年度活動計画について、資料 No.87(4)-1 及び資料 No.87(4)-2 の内容で運転・保守分科会に上程することについて決議を取りたい。

○ 特に異論がなかったため、2025 年度活動計画について、資料 No.87(4)-1 及び資料 No.87(4)-2 の内容で運転・保守分科会に上程することについて、分科会規約第 13 条(検討会)第 15 項に基づき決議

の結果、特にコメントはなく、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

(5) その他

次回保守管理検討会開催は、分科会中間報告から原子力規格委員会中間報告までの間、具体的には 2 月から 3 月の間で調整する。

以 上